

「令和3年度に実施した仕事」の振り返りシート（B：裁量無及びその他）

記入日 令和 4 年 4 月 30 日

事業名称		法規事務費 [条例等審査事務]												
予算科目	款	2	総務費			項	1	総務管理費		目	2	文書費	事業番号	2
事業の種別		<input checked="" type="checkbox"/> 市が実施することが法律等で義務付けられているもの(市の上乗せなし) <input type="checkbox"/> 課内庶務等 <input type="checkbox"/> 休止したもの <input type="checkbox"/> 廃止したもの												
担当部署・課長名		文書 課 法規 係 課長名 阿部 晴彦												
この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。											施策番号	行 - 2		
【施策名】 効率的でスリムな行財政運営の実現											総合計画書 (ページ)	122		
1 この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。 制定改廃につき審査を要する例規						→						① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標) 制定改廃につき審査を要する例規の件数	
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に] 制定改廃について審査を実施することにより、例規の適法性・合理性・正確性等を確保する。						→						② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標) 審査済みの例規の件数/制定改廃につき審査を要する例規の件数	
	③ そのために何をしましたか。 適正な審査						→						③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標) 審査済みの例規の件数	
2 指標の推移			単位	過去2年間の実績		当該年度		成果目標						
				平成31年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績		令和4年度目標	令和5年度目標					
	対象指標	①の数値	件	135	121	149								
	成果指標	②の数値	%	100	100	100								
	目 標	②の目標値	%			100		100	100					
目標値設定の考え方(課内庶務、休止したもの、廃止したものを除く。) 制定改廃につき審査を要する例規はすべて審査の対象とする。														
3 経費	事業費(実績)		円	1,009,776	1,034,880	1,034,880								
	財源	一般財源	円	1,009,776	1,034,880	1,034,880								
		特定財源	円	0	0	0								
	(うち受益者負担)		円	0	0	0								
	人件費(目安)	所要人数(再任用以外)		人	2.0	2.5	2.5							
		所要人数(再任用)		人	0.0	0.0	0.0							
		職員人件費(再任用以外)		円	16,620,000	20,950,000	20,625,000							
職員人件費(再任用)		円	0	0	0									
事業費+人件費		円	17,629,776	21,984,880	21,659,880									
※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外) 年間単価は、8,250,000円 時間単価は、4,200円 で計算してください。 【算出根拠】令和2年度決算数値(退職手当組合負担金、共済費も含む。)														
4 課題	今後の課題(仕事の最適化・合理化の提案) ※廃止したものを除く 令和4年度には、大規模な改正を予定している例規が複数あり、より効率よく例規審査を行う必要がある。 主管課において、より完成度の高い案文の作成や、例規審査に関連度の高い資料を収集することで、例規審査にかかる時間の短縮を図る必要がある。													
5 今後の方向性	仕事の方向性(「4課題」の課題解決に向けた具体的な改革・改善案など) ※廃止したものを除く 職員の法務能力を向上させるため、法務情報の発信を行う。 主管課との調整に要する時間を削減するため、審査依頼書及びチェックシートに記載すべき事項等について見直しを行う。													